

2021年6月11日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 2022年度に北陸エリアで観光型 MaaS を導入します！

### ～導入に向け、実証実験を今年度中に実施します～

JR西日本は、北陸新幹線敦賀延伸の効果を最大限に高め、北陸エリアへの観光誘客の拡大を図るため、出発から目的地までの新幹線をはじめとする鉄道に加え、現地でのバス、タクシー、レンタカー、レンタサイクルなど交通機関及び観光素材をスマートフォンでシームレスに検索・予約・決済することができる「観光型 MaaS (Mobility as a Service)」を2022年度に導入いたします。つきましては下記のとおり、導入に向けた実証実験を2021年度に実施いたしますのでお知らせいたします。自治体や事業者の皆様にも多数の参画をいただきながら、地域に貢献する MaaS を目指してまいります。

#### 記

#### 1. 実施時期

実証実験：2021年12月1日～2022年3月31日  
本格導入：2022年度下期を予定

#### 2. 実施主体

JR西日本

【協力】北陸三県誘客促進連携協議会※、日本旅行

※北陸三県(富山県・石川県・福井県)における魅力ある観光地づくりと北陸への誘客促進を目的として、富山県、石川県、福井県及び各県観光連盟・観光推進機構、北陸経済連合会、JR西日本金沢支社で構成する協議会

#### 3. 実証実験

【概要】北陸3県と協力し、「WESTER」の基盤を活用した「おでかけクエスト(デジタルスタンプラリー)」を実施いたします。観光施設や公共交通のご利用等、複数のクエスト達成による特典の付与を通じ、お客様個々のニーズにお応えしつつ「たび前」から「たび後」までの一連の体験を後押しするサービスをご提供します。

【エリア】富山県、石川県、福井県

【参加方法】新常態をサポートするJR西日本公式アプリ「WESTER」からのご参加

#### 4. その他

- ・デジタルスタンプラリーの詳細は決まり次第改めて発表させていただきます。
- ・2021年の実証実験を元に、2022年に予約決済機能を備えた観光型 MaaS の導入を目指します。

以上